

# 模擬投票で選挙身近に

久御山  
中学校 生徒会本部役員に一票

久御山中学校（南亮司校長、412人）で先頃、生徒会本部役員選挙があった。18歳選挙権を見据えて、今年度も実物の選挙備品を使い、生徒が臨場感あふれる一票を投じた。

各クラスの代表でつくる選挙管理委員会が、告示から立候補の届け出、選挙運動など本番にのっとった手順で進めた。個々の氏名が入った投票所の入場券を配布。町選管から本物の投票箱6個と記載台を借り、校内3カ所に投票所を開設した。

1、2年生から定数と同数の9人が立候補し、体育館での立会演説会に登壇。折々で全校のキーワードに挙げられてきた「おもろい学校」や「人間力」などにも触れつつ、「公約」を語った。クラスメイトやクラブの仲間、上級生らが応援演説で盛り立てた。

その後、生徒たちは昼休みや放課後に任意で投票所を訪れ、信任投票に参加した。

選挙管理委員長の東啓汰くん（3年）は「投票の仕方を校内放送で説明したりするのが難しかったけれど、貴重な経験。選挙への意識が高まった」と話していた。



実物の投票箱に一票を投じる生徒たち

平成30年10月31日・11月15日 洛タイ新報

# 水曜塾プラス

道標(号外)

部活休養日に自主学習支援

勉強案外おもろいやん!

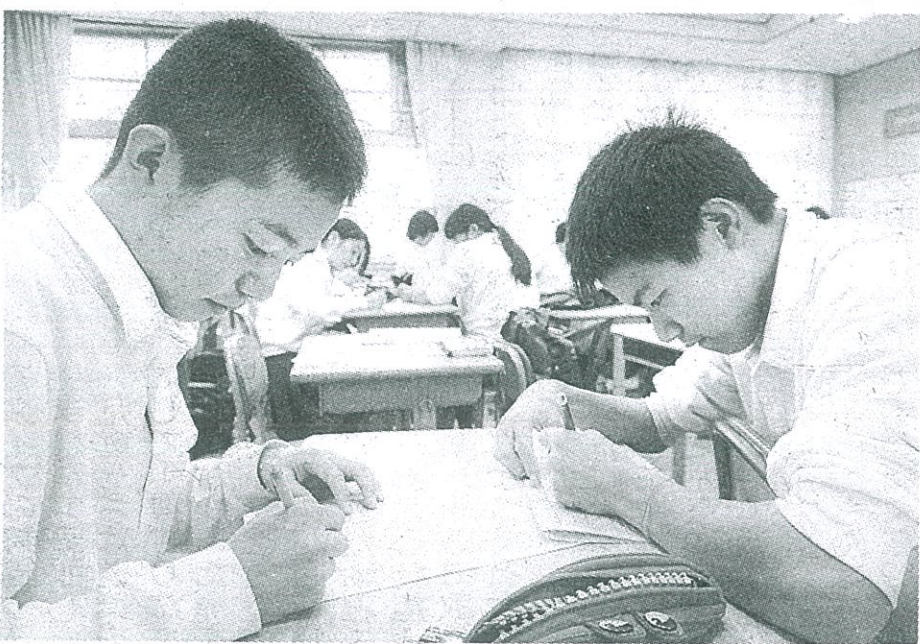
学力向上や働き方改革へ

久御山中

久御山中学校（南亮司校長）で、部活動の一斉休養日となる水曜日の放課後を活用し、生徒の自主的な学習をサポートする取り組みが始まった。学力向上と教員の働き方改革の双方を見据え、部活動と共に「勉強も頑張る久御山」を目指す。

毎週水曜日の放課後、教室を学習場所に提供し、教員挙げて自主学習を支援する。定期テスト前の土日に町教委が自主学習の場を開設して行っている「土曜塾プラス」にちなみ、「水曜塾プラス」と名付けた。

希望生徒が参加し、宿題や持参した教材に1時間取り組む。教員は必要に応じてアドバイスし、普段の授業では気が付かなかった生徒の学習課題を発見したり、教員への理解を深めたりすることで、仕事の良い循環をつくる。



生徒が互いに学び合う環境ができつつある水曜塾プラス

久御山中の特徴にしていきたい」と意気込み、「勉強も案外おもろいやんか」と思えるようになっていく。

うになるまで頑張ろう」と生徒たちに呼びかけている。

生徒が互いに学び合う環境ができつつある水曜塾プラス